

第24回

家族忘年会



第24回家族忘年会が、12月10日土曜日に栄マルベリーホテルで行われ、71名もの方々に御参加いただきました。

今年は、社長が結婚された事もあり社長夫妻を交えたクイズ形式で相性診断クイズをしました。

知り合った場所とかプロポーズの言葉とかをクイズを通じて知りました。他夫妻で来られた方にもクイズに参加頂きありがとうございました。

幹事を初めて務めさせて頂き会場の打ち合わせから参加者の確認、忘年会当日までの準備がどれだけ大変かわかり、いい経験になりました。

幹事代表 大橋 康成



社長と奈津子夫人



実行委員と会長

『2006年を迎え』

明けましておめでとう御座ります。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

社長 森 直樹



本年6月21日で弊社は50周年を迎えます。大きな一つの区切りとなりますが、日本で約250万ある法人のうち、その半分が赤字、また30年継続する企業はそのうち数%という現状、50年間に渡り存続してこられたということはそれだけでも十分な結果と言えますが、私も社長として、時代の変化に対応し、永続する企業作りを目標に精進する所存です。そこで、そのような企業にするためには何が必要かという点、

1. 地域貢献することの出来る会社。
2. 社員さんのやりがいを与える仕事環境と安定した生活を供給出来る会社。
3. 柔軟な変化が出来る体質を持った会社。

以前、理想の会社とは何かと、この紙面にて書いたこともありますが。そして会社について以上のような考えを持つに至りました。地域貢献とは、利益を出し、雇用を創出、そして会社の地盤となるその地域の活性化を助けることが出来ること。そして仕事のしやすい環境。また時代の変化を読み、方向転換の出来る体勢、つまり柔軟な思考と組織が必要ということです。

単純に言えば、そこで働く社員さん、パートさんたちと、お付き合いさせて頂きたい取引先の皆さん、そして経営陣と会社に関わる全ての人たちが幸せになる会社、であれば存在できなくなるわけがありません。是非とも50周年の次は100周年ーを目指せる会社に出来れば、と思います。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

naoki@morimatsu.net

2006年 1月

の予定

28日 (土)	24日 (火)	23日 (月)	21日 (土)	19日 (木)	17日 (火)	14日 (土)	11日 (水)	9日 (月)	7日 (土)	6日 (金)	5日 (木)	4日 (水)	3日 (火)	1日 (日)				
第四土曜休み	編集会議 18時〜	生産会議 18時〜	CS(顧客満足)向上会議 15時10分〜	経営会議 7時30分〜	5Sの日	倪建成さん誕生日	中国情報会・マリオットホテル ビニール卸組合賀詞交換会	第二土曜休み	アキレス賀詞交換会	成人の日	津田巨さん誕生日	第一土曜休み	信念会 17時30分開会・クレール	中文新年会・国際ホテル	仕事始め	内田洋行・新年会・社長黒松	吉岡考記さん誕生日	元旦



パートさんコーナー

「雪の高速道路」

昨年末に、私と次男夫婦と孫の7人で田舎(福岡)に帰った事なんですが...

帰る時に雪がちらついていたので、高速道路が心配だったので、予想通り最悪でした。

走行途中で凄く雪が降ってきて、チェーンを巻かなければ走行できず、チェーンを巻くのも初めてだったので、なかなかうまくいわずに吹雪の中、説明書を見ながら子供と嫁とで一生懸命やっていました。

やっとの事で取り付けたはいいいのですが、今度は前が見えないくらいに吹雪いてきて、あっという間に高速道路の辺り一面が雪で真っ白くなり怖いくらいでした。その為、何度も通行止めになり、高速を降り下道进行することになりました。全く道が分からなかったのですが、



久保田 裕子 (製造部)

車にナビが付いていたので、ナビどおりに走行し、再度高速に入りの繰り返してした。

お腹は空しく、お手洗いにいきたいでコンビニに入ると、お手洗いは凄く人で並んでいるし、食べ物も売り切れ状態で、ウゥ...もう本当に最悪です。

この状態で、名古屋から福岡まで、かかった時間はなんと24時間です。

もう二度と冬に車で田舎に帰るのはこりこりだと思いました。

「大掃除」

小坂美香 ライトSTAFF・サークル



あつという間に1年が過ぎ、今年も大掃除の時期がやってきました。片付けが苦手な私にとっては嫌な時期でもありません。今は必要な物でも、いつかは必要になると思っただけで、なかなか捨てる事が出来ないう物もあり、置き場所に困る事があります。片付けが苦手なのは、そのせいもあるのかも知れません。思い切って捨てる事も、片付け上手になる一歩だと思うので、期間を決めるなどをして処分していくようにしたいと思いました。また、普段見落とししていた所や手の届きにくい場所なども綺麗にする良い機会です。きっと1日では全部やりきれないと思います。が、やるからには徹底的にやりたいので、時間をかけて綺麗にしたいと思います。そして気持ちよく新年を迎えたいと思います。



サークル別 冬季休暇読後感 書籍紹介

マルサン工房サークル、ライトSTAFFサークル

「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」 山田真哉 著

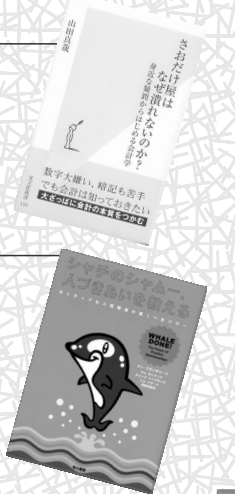
身近な疑問からはじめる会計学

ウルトラセブンサークル

「シャチのシャムー人づきあいを教える」

ポジティブな人間関係の驚くべきパワー

ケン ブランチャード 著、
チャックトンプキンス 著、
サド ラシナック 著、
ジム バラード 著、
Ken Blanchard 原著、
Chack Tompkins 原著、
Thad Lacinak 原著、
Jim Ballard 原著、
羽賀 芳秋 翻訳



『初心で進む』

森 ちか



あけましておめでとうございます。

働き始めて今年で45年目に入ります。それなりにいろいろな節目はありましたが、仕事を始めた時の一生懸命で謙虚であった頃、すべてが新鮮で人の言動、社会のことなどいろいろなことが、学びとなりました。しかし、時が経つにつれてその強い思いは薄れ、それにしがたがって熱意や謙虚さも失ってしまいました。一面やむをえないことかもしれませんが、そうなるも成長も進歩も止まってしまう。

まだまだ働きたいと思つていますが、そうならないために時々「初心に戻る」ことが大切だと思います。心に期した時の気持ちをもう一度呼び戻すために、自分で意識して時間の節目を作る。それがこの年の始めの元旦は、そのための絶好の機会なのでは...と思つています。(節目を作ろうと思えば、1ヶ月の始め、又、週間のはじめ等いくらでもあります。とりあえずまず元旦から...)

今年もどうぞよろしく

お願いします。

『心機一転』

伊東郁二(ライトSTAFFサークル)



息子の部活顧問から配られる2ヶ月に1度の練習予定表に添えられる「A4サイズ1枚のメッセージ」を見て感動した。内容は、「打倒、A中学校」を合言葉に、知多郡の頂点に立つたのを機に書かれていた。メンバー全員「勝ちたい」という強い気持ちがつながって大きなパワーとなった。「努力する心」「感謝する心」を忘れてしまふのなら、このチームは周囲に追いつかれやがて負けてしまう。結果を残すことが出来たのは、悔しさをバネに必死に努力した結果。苦しい練習に耐えてきた結果。バスケ名門である大谷高校顧問による合同練習のお陰。家族の励ましや応援のお陰。頂点に立てたのは、「自分ひとりの力」と思うな。あらゆるすべての「人」「もの」に感謝。」「挨拶」がきちんと出来ないチームは、強くなれない。チームのレベルがわかる。言葉さえ違ふが、「モーリン語録」の勢いを感じた。数々の大会を制覇し、今、県大会出場を手にした。しかし、それと共に「挨拶」が出来なくなつていった。「挨拶」などしなくないのだろうか？先生たちは、たとえ弱くても挨拶がしっかり出来るチームの方が誇りに思える。人間として「立派」だと思ふ。挨拶の出来ないチームになつて欲しくない。そんなチームは、県大会の代表になるべきではないと思う。：初心忘れるべからず。としめてる。

そして、最終行には大文字で「これから先に行くには、新しい勇気がいる。」と書かれていた。新年早々、素晴らしい先生の言葉に心を打たれた。スポーツから、社会、仕事へと言葉を置き換えるとどんな場面でも言えることであると感じた。何歳になつても、「挨拶感謝」の重要性を痛感させられた。自分に言われていると感じ、今年も「精一杯頑張りたい」と強く感じる文章であった。「勝負」の前に、最低限の「躰・礼儀」を重視する教えには、同感である。

親の教育が悪く、我が子には何も教えていない。果たして息子はどんな風を受け止めたのだろうか？勉強の前に、挨拶・感謝の気持ちだけは忘れて欲しくない。と教えたが...？

『ふしぎやな』

加藤雅昭(ライトSTAFFサークル)



世の中には自分ではわかっているつもりでもわかっていないことがたくさんあります。今まではレコードをよく聞いていましたが何で音が出るの？あんなただの溝を針がトレスするだけで音が出てしまう。針が溝の深さをスライドしそれをマグネット(MM型)やコイル(MC型)に伝え電気信号に変えて昇圧トランスで増幅しアンプでスピーカーをドライブする。言葉でわかつてはよくわからん。

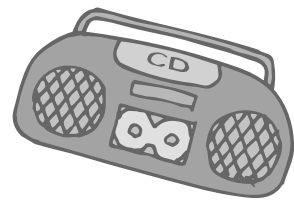
今はCD：これもまたまたわからん。なんであんなポリカにアルミ蒸着したものの中に入った有機色素層を焼いてビットを作りレーザーで読み出すCD・R：これってわかっている人はどれくらいいるのだろう。CD理論の本を読んでもちつともわからん。

CDが出たころはCDを冷やすといい音がするとか、中心から十字に切れ込みを入れるといい音がするとかまことしやかに言われていましたが、そんなことありえせんよ。データはあくまでデータであつて違うCDにコピーすると音が悪くなる。はずはないんですけどね。データが狂えば音は出なくなる。はずでは？また十字に切れ込みを入れればその部分のデータは欠如して音が出ない？ところがこれが出るんですよ。なんと欠損した部分のデータは補正回路が勝手に創造して補完してしまふ。すごいですね、今の機械は、これによって原音と音が変わつて面白い？やっぱわからんですね。

こんなわからんことを書いていますが音楽はよく聞きます。寝る前の1時間くらいはほとんど音楽を聞いています。今20年くらい前のCDプレーヤーと、2年前のCDプレーヤーを使用していますが、面白いくらいに音が違います。20年前のものは元気が良いんですが分解能力がありません。2年前のものは分解能力が優れ、昔のものと比べると同じCDを聞いても明らかに楽器の数・種類が多く聞けます。これもよくわからん。

ほんとオーディオはわからんことばかりですが、音・音楽はいいですね。一日の疲れを取つてくれます。寝る前の一杯の焼酎と今はパルヘルベルのカノンとバッハのG線上のアリアにはまっています。

今はもう24時、今日もジェットストリームのオーブニングを聞いてから寝ます。伊武雅刀のナレーション。昔は城達也だつたよな。なんて考えながら今日一日が終わっていきます。私のわからんはきつといつまでたつてもわからんはきつたらうな。



『その気何の気 知になる気』

長崎 修(マルサン工房サークル)



我が家には誰に似たのか、こゝろに強い人がいる。それは長女の碧。2年前程前にゲームキューブを手に入れた方法は「波紋」でも紹介しましたが、今回はまさしく、パート2なので御座います。

今回のターゲットはニンテンドーDS。この発端は妻の妹が最近ニンテンドックスという犬をバーチャルで飼うことの出るゲームに夢中になつていて、それを見た娘が自分も欲しくなつて、おねだりした事でした。当然のことながら妻が「じゃあ、買ってあげる」なんて言うはずもなく、何度とトライしている娘の様子を見ていた妻の双子の妹が、自分達が原因というところもあり、「じゃあ、お姉さんが買ってあげる。但しテストで満点取れたらね」と約束したのであります。

娘は今まで私が記憶している中でテストで満点を取つた事がない(小テストは除く)今回の事で目標に向かって頑張つた結果100点を取るだろうと予測していましたが(予測というより希望かも)そしてその予測は次の週にあつさりクリアされてしまいました。え！だつて今まで100点だなんて...あまりのことに「同睡然」「お兄ちゃん！碧は今まで100点取つたことがないって本当なの」と義妹に詰められてしまいました。約束は約束なのでその週の日曜日に一緒に買いに行つてきました。嬉しそうに娘の後ろ姿に「よかつたね」と喜ぶ私。その時「ありがと、葉子おばさん」とお礼をいう娘。まさしく！と義妹の顔を見ると、ちよつと怒つた顔をして「お姉さんが安月給の中から買ってあげたんだから大事にしてね」と言葉使いを注意され、次回の課題は言葉使いかな...

今回のことで私の中に少し心配事が...それは一度あることは二度ある。次回パート3はあるのかな。それとも今度は妹の唯ちゃんがパート3になるのかも。その時はまた波紋で紹介致します。